

小学校 家庭

1 教育課程実施上のポイント

(1) 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

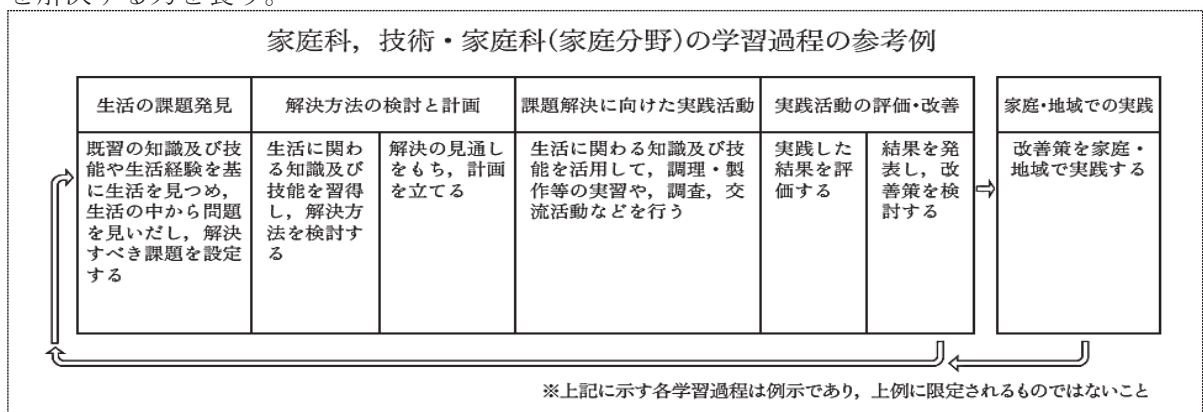
- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

○全体に関わる目標を柱書として示すとともに、家庭科で育成を目指す資質・能力を、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って示した。

家庭科において育成を目指す資質・能力の整理

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と家族についての理解 ・生活の自立の基礎として必要な衣食住についての理解と技能 ・消費生活や環境に配慮した生活の仕方についての理解と技能 	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見だし、課題を設定する力 ・生活課題について自分の生活経験と関連付け、様々な解決方法を構想する力 ・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを根拠や理由を明確にしてわかりやすく表現する力 ・他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして計画・実践等について評価・改善する力 	家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活を大切にすることを育む ・家族や地域の人々と関わり協力しようとする態度 ・生活を楽しまうとする態度 ・日本の生活文化を大切にしようとする態度

○目標(2)に示されたような「日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現する」という学習過程を通して、習得した「知識及び技能」を活用し、「思考力、判断力、表現力等」を育成することにより、課題を解決する力を養う。



(2) 実施上のポイント

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編」P.15より

①改訂のポイント

○内容構成の改善

➤小・中・高等学校の内容の系統性を明確にし、各内容の接続が見えるよう、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の三つの内容に整理した。A、B、Cそれぞれの内容は、「生活の営みに係る見方・考え方」に示した主な視点が共通している。

- 三つの内容は、空間軸と時間軸の視点から学校段階別に学習対象を整理した。小学校における空間軸の視点は、主に自己と家庭、時間軸の視点は、現在及びこれまでの生活である。
- 資質・能力を育成する学習過程を踏まえ、各項目は、原則として、「知識及び技能」の習得に係る指導事項アと「思考力・判断力・表現力等」の育成に係る指導事項イで構成した。

○履修について

- A(1)アは、ガイダンスとして第5学年の最初に履修させるとともに、生活の営みに係る見方・考え方について触れ、A、B、Cの学習と関連させて扱う。
- 新設したA(4)については、実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮し、2学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させる。

○社会の変化への対応

- 家族や地域の人々とよりよく関わる力を育成するため、A(3)において幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わりに関する内容を新設した。
- 自立した消費者を育成するため、C(1)において中学校との系統性を図り「買物の仕組みや消費者の役割」に関する内容を新設した。

○基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着

実践的・体験的な活動を一層重視するとともに、調理及び製作において一部の題材を指定した。

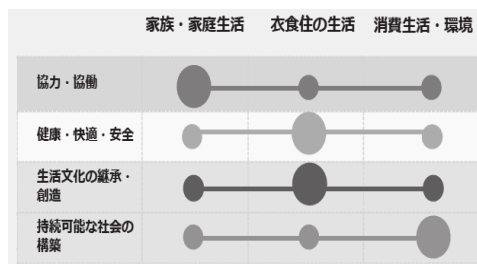
- B(2)ア(エ)：ゆでる材料として青菜やじゃがいもなどを扱う。
- B(5)：日常生活で使用する物を入れる袋などの製作を扱う。

②主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業改善のポイント

主体的な学び	題材を通して見通しをもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に粘り強く取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付け、主体的に取り組んだりする態度を育む学び
対話的な学び	児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々などとの会話を通して考えを明確にしたりするなど、自らの考えを広げ深める学び
深い学び	児童が日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決に向けて様々な解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、更に家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして資質・能力を身に付ける学び

③見方・考え方について

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること



※主として捉える視点については、大きい丸で示している。

○小学校においては「生活の営みに係る見方・考え方」のうち、「協力・協働」については「家族や地域の人々との協力」、「生活文化の継承・創造」については「生活文化の大切さに気付くこと」を視点として扱うことが考えられる。

○示された視点は、全ての内容に共通する視点であり、相互に関わるものである。

○児童の発達の段階を踏まえるとともに、取り上げる内容や題材構成等によりいずれの視点を重視するのかを適切に定めることが大切である。

(3) 評価について

①評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

学習指導要領に示された目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されています。



②評価規準の作成について

手順1 「内容のまとめり」を確認する

「内容のまとめり」とは学習指導要領に示す「第2各学年の内容」の「1 内容」の項目等をそのまとめりごとに細分化したり整理したりしたものです。



B 衣食住の生活	(1) 食事の役割	(4) 衣服の着用と手入れ
	(2) 調理の基礎	(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
	(3) 栄養を考えた食事	(6) 快適な住まい方

手順2 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する

【例】「B 衣食住の生活」(2) 調理の基礎

<内容のまとめり>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(2)ア(ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。 【観点のポイント】 ※指導事項アについて、その文末を「～を(について)理解している」「～を(について)理解しているととともに、適切にできる」として評価規準を作成する。 ※「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成する。	B(2)イ おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。 【観点のポイント】 指導事項イについて、その文末を教科の評価の観点の趣旨及びその趣旨に基づき、「～について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成する。	※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、教科の目標(3)を参考にする。 【観点のポイント】 ①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面)、②自らの学習の調整(その中で自らの学習を調整しようとする側面)に加え、③実践しようとする態度を含めることを基本とし、その文末を「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり(①)、振り返って改善したり(②)して、生活を工夫し、実践しようとしている(③)」として、評価規準を作成する。

<内容のまとめりごとの評価規準(例)>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。	おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 ※必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

手順3 「『内容のまとめりごとの評価規準(例)』を具体化した例」を作成する

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について考え、工夫している。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について工夫し、実践しようとしている。

※「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」及び(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」は、指導事項アのみで構成されている。(1)の評価の観点については、「知識・技能」及び「主体的に学習に取り組む態度」、(4)の評価の観点については、家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」であることに留意しましょう。



2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導展開例

(1) 題材名 わが家の仕事大作戦 part 3 (第5学年)
～家族で協力、わが家のお正月を気持ちよくむかえよう～

この題材は、「A家族・家庭生活」の(2)「家庭生活と仕事」における「わが家の仕事大作戦 part 1、part 2」の学習を基礎としたAの(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」の題材です。

(2) 題材の目標



- ①お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事について日常生活から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ②家族の一員として、生活をよりよくしようと、お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとする。



本事例では、Aの(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」における「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の評価について具体的に示しています。

(3) 題材の評価規準

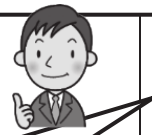
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事について日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとしている。


(4) つながりのある題材における指導と評価の計画(2時間+3時間+4時間)

- [1] わが家の仕事大作戦 part 1 ～家庭の仕事を見つめてみよう～ 2時間
- [2] わが家の仕事大作戦 part 2 ～わが家の仕事を工夫しよう～ 3時間
- [3] わが家の仕事大作戦 part 3 ～家族で協力、わが家のお正月を気持ちよくむかえよう～
本時(1・2/4) 4時間

題材	時間	ねらい・学習活動	○評価規準 ◇評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わが家の仕事大作戦 part 1	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに分担して協力していく必要があることを理解することができる。 ・家庭の仕事を観察したことを発表し合い、家庭を支える仕事への協力について話し合う。 ○生活時間の有効な使い方を理解することができる。 ・自分と家族の生活時間の使い方を友達と比較し、家族に協力できるように生活時間の有効な使い方について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭を支える仕事があり、互いに協力して分担する必要があることを理解している。 ◇学習カード ○生活時間の有効な使い方について理解している。 ◇学習カード 	<ul style="list-style-type: none"> 「わが家の仕事大作戦 part 1、part 2」はともに家庭の仕事としてつながりがあるため、この二つの題材の「主体的に学習に取り組む態度」については、関連付けて総合的に評価することが考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ◇ポートフォリオ ◇行動観察
「ゆでる調理で健康になろう」「手縫いで生活を楽しくしよう」「整理・整とんで生活を快適にしよう」					



わが家の仕事大作戦 part 2	1・2	<p>○わが家の家庭の仕事について問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事を振り返り、問題を見付ける。 ・できるようになったことを生かし、自分が分担する仕事の課題を設定する。 <p><課題の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆでる調理で朝ごはんをつくろう ・整理・整とんで台所をきれいにしよう など <p>○分担する家庭の仕事の計画を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が分担する家庭の仕事の計画を立てる。 ・グループでアドバイスし合い、計画を改善する。 		<p>○家庭の仕事について問題を見だして課題を設定している。</p> <p>◇仕事計画・実践記録表</p> <p>○家庭の仕事について実践に向けた計画を考え、工夫している。</p> <p>◇仕事計画・実践記録表</p> <p>○家庭の仕事についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</p> <p>◇行動観察</p>	<p>○家庭の仕事について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p> <p>◇行動観察</p>
	家庭実践（夏季休業中）				
	3	<p>○夏季休業中の家庭の仕事の実践を振り返り、評価・改善することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで実践発表会を行う。 ・自分の実践でさらに改善したいことを計画表に記入する。 		<p>○家庭の仕事について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>◇仕事計画・実践記録表</p>	<p>○家庭の仕事について工夫し、実践しようとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p>
<p>「ミシンを使って生活を楽しみましょう」 「伝統の味 おいしいごはんのみそ汁を作ろう」 「すっきり さわやか 環境にやさしい清掃をしよう」</p>					
わが家の仕事大作戦 part 3	1	<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事の中から問題を見だして課題を設定し、解決するための計画を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お正月に向けての家庭の仕事について、インタビューなどから問題を見だし、課題を設定する。 <p><課題の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい大そうじをしよう ・だしを使っておせち料理をつくろう など 		<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事の中から問題を見だして課題を設定している。</p> <p>◇計画・実践レポート</p>	<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事に関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p> <p>◇行動観察</p>
	2 本時	<p>・各自が課題の解決に向けて計画を立てる。</p> <p>・課題ごとのグループで発表し合い、自分の計画を見直す。</p>	<p>計画・実践レポートの記述内容から評価することが考えられます。 ※「十分満足できる」状況の例 環境への配慮に加え、簡単にきれいにする方法として手作りの用具を考え、見直した計画を記述していること。</p> 	<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事に関する課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。</p> <p>◇計画・実践レポート</p>	<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事に関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p> <p>◇行動観察</p>
家庭実践（冬季休業中）					

3 ・ 4	<p>○家庭の仕事の実践についてまとめたり、実践発表会で分かりやすく発表したりすることができる。</p> <p>・実践したことを計画・実践レポートにまとめる。(課題、実践内容と工夫、自己評価、家族の感想)</p> <p>・実践発表会を開き、レポートをもとにグループで交流する。</p>		<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事について、実践した結果を評価・改善し、新たな課題を見付け、次の実践に取り組もうとする。</p> <p>・実践を評価し、改善する。</p> <p>・よりよい生活にするための新たな課題を見付け家庭の仕事への今後の思いや考えをまとめる。</p>	<p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事に関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく説明したり、発表したりしている。</p> <p>◇計画・実践レポート</p> <p>◇行動観察</p> <p>○お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事に関する課題の解決に向けて家庭で実践した結果を評価したり、改善したりしている。</p> <p>◇計画・実践レポート</p> <p>◇相互評価</p>	<p>ポートフォリオの記述内容から評価することが考えられます。</p> <p>※「十分満足できる」状況の例実践しようとするを具体的に記述していること。</p>  <p>○更によりよい生活にするために、家庭の仕事に関する新たな課題を見付け、家庭での次の実践に取り組もうとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p>
		<p>計画・実践レポートの記述内容から評価することが考えられます。</p> <p>※「おおむね満足できる」状況の例</p> <p>家庭実践でうまくいかなかったことについての改善策を記入していること。</p>			

(5) 授業展開例

- 題材名 わが家の仕事大作戦 part 3 ～家族で協力、わが家のお正月を気持ちよくむかえよう～
- 本時のねらい

お正月を気持ちよく迎えるための家庭の仕事の中から問題を見いだして課題を設定し、解決するための計画を工夫することができる。

学習活動	指導上の留意点	評価場面【評価方法】
1 本時の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。	<p>【10の視点】 ①魅力的な課題・教材の提示</p> <p>日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践しようという「主体的な学び」への意欲を高めます。</p>	
お正月を気持ちよくむかえるためのわが家の仕事大作戦の計画を立てよう		
2 お正月を気持ちよく迎えるために家庭の仕事についての問題を見だし、課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事のイメージマップから、問題点を見いだせるようにする。 	<p>自分の課題を設定する場面</p> <p>【計画・実践レポート】 思考・判断・表現</p>
3 各自が課題の解決に向けてお正月の仕事の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを振り返ったり、調べコーナーを活用したりすることなどを促し、お正月の仕事の計画を工夫できるように支援する。 	
4 同様の課題ごとのグループで発表し合い、自分の計画を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の仕事のやり方なども参考にして各自の家庭に応じた計画を工夫できるように助言する。 	<p>課題解決に向け計画を考え、工夫する場面</p>
5 計画の改善点について発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実践に向けて、家族との協力の視点からも考えることができるようにする。 	<p>【計画・実践レポート】 思考・判断・表現</p>
6 計画の作成について振り返ったことやよりよい生活にするために、生かしていくことを、ポートフォリオ(学習の足あと)に記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように記入してよいか分からない児童には、レポートから学習を一緒に振り返り助言する。 ・個々の児童の工夫を認め、冬休みの家庭実践への意欲につなげるようにする。 	<p>本時の学習を振り返る場面</p> <p>【行動観察】 主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>【10の視点】 ⑩家庭学習と連動した学びの定着</p> <p>学校で学んだことが家庭での実践につながる支援が大切です。</p>	

中学校 技術・家庭（技術分野）

1 教育課程実施上のポイント

（1）技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標は、「技術の見方・考え方を働かせ」、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、「技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力」を(1)～(3)の3つの柱によって育成すると示されている。



知識及び技能 【目標(1)】	○技術の仕組みと関係する科学的な原理・法則の基礎的な理解 ○技術を安全・適切に活用する技能 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念の理解
思考力、判断力、表現力等 【目標(2)】	○生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想する力 ○製作図や回路図、計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善する力
学びに向かう力、人間性等 【目標(3)】	○安心、安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために、主体的に技術に関わる態度 ○技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

3つの柱に沿って整理したことから、従前の教科目標に示されていた「基礎的・基本的な知識及び技術」の「技術」については、「技能」となっています。



(2) 実施上のポイント

①改訂のポイント

○内容構成

各内容を示す順序は、各学校における指導学年などを規定するものではないが、小学校における学習との接続を重視する視点から、生物育成の技術に関する内容とエネルギー変換の技術に関する内容の順序を入れ替えた。

4つの内容	A材料と加工の技術、B生物育成の技術、Cエネルギー変換の技術、D情報の技術
3つの要素	生活や社会を支える技術、技術による問題の解決、社会の発展と技術

○履修方法

技術に関する教育を体系的に行うために、第1学年の最初に扱う内容の「生活や社会を支える技術」の項目は、小学校での学習を踏まえた中学校での学習のガイダンス的な内容としても指導する。

○社会の変化への対応

急速な発達を遂げている情報の技術に関しては、小学校におけるプログラミング教育の成果を生かし発展させるという視点から、従前からの計測・制御に加えて、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングについても取り上げる。加えて、情報セキュリティ等についても充実する。

②主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業改善のポイント

主体的な学び	<u>現在及び将来を見据えて、生活や社会の中から問題を見だし課題を設定し、見通しをもって解決に取り組むとともに、学習の過程を振り返って実践を評価・改善して、新たな課題に主体的に取り組む態度を育む学び。</u>
対話的な学び	<u>他者と対話したり協働したりする中で、自らの考えを明確にしたり、広げ深める学び。直接、他者との協働を伴わなくとも、既製品の分解等の活動を通してその技術の開発者が設計に込めた意図を読み取る</u> といったことなども、対話的な学び。
深い学び	<u>生徒が、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けた解決策の検討、計画、実践、評価・改善といった一連の学習活動の中で、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせながら課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりして、資質・能力を獲得する学び。</u>

③見方・考え方について

生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること。

材料と加工の技術	<p>○材料と加工の技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、生産から使用・廃棄までの安全性、耐久性、機能性、生産効率、環境への負荷、資源の有限性、経済性などに着目する。</p> <p>○材料の組織、成分、特性や、組み合わせる材料の構造、加工の特性にも配慮し、材料の製造方法や、必要な形状・寸法への成形方法等を最適化する。</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

生物育成の技術	○生物育成の技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、作物等を育成・消費する際の安全性、生産の仕組み、品質・収量等の効率、環境への負荷、経済性、生命倫理などに着目する。 ○育成する生物の成長、働き、生態の特性にも配慮し、育成環境の調整方法等を最適化する。
エネルギー変換の技術	○エネルギー変換の技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、生産から使用・廃棄までの安全性、出力、変換の効率、環境への負荷や省エネルギー、経済性などに着目する。 ○電気、運動、物質の流れ、熱の特性にも配慮し、エネルギーを変換、伝達する方法等を最適化する。
情報の技術	○情報の技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、使用時の安全性、システム、経済性、情報の倫理やセキュリティ等に着目する。 ○情報の表現、記録、計算、通信などの特性にも配慮し、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化による処理の方法等を最適化する。

④移行措置について

- 平成30年度から全部または一部の先行実施が可能。
→ 教科の時間数を考え、平成31年度入学生からは、令和3年度の全面実施に向けて計画的な履修を進めていくことが必要となる。

令和3年度に完全実施となるので、令和3年度の3年生は新学習指導要領での学習となります。
授業時数や内容等を考えると、平成31年度入学の1年生から新学習指導要領で実施することが望ましいです。



(3) 評価について

①評価の観点及びその趣旨

【技術・家庭科】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【技術分野】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

学習指導要領に示された技術・家庭科及び技術分野の目標を踏まえて、観点別学習状況の評価の対象とするものを整理し、「評価の観点及びその趣旨」が作成されています。



②評価基準の作成について (例) 内容A「材料と加工の技術」

手順1 観点ごとの目標を「内容のまとめり」ごとに分解

A 材料と 加工の 技術	(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術
	(2) 材料と加工の技術による問題の解決
	(3) 社会の発展と材料と加工の技術

「内容のまとめり」とは・・・
各教科において、学習指導要領に示す内容の項目等をそのまとめりごとに細分化したり整理したりしたもの

手順2 【観点のポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

< 観点のポイント >

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○基礎的な技術について、その仕組みの理解やそれらに係る技能の習得状況を評価する。 ○技術に関する科学的な原理・法則とともに、技術と生活や社会、環境との関わり及び、生活等の場面でも活用できる技術の概念の理解も評価する。 ※指導事項アについて、その文末を分野の観点の趣旨に基づき、「～について理解している」「～ができる技能を身に付けている」として作成。	○技術を用いて生活や社会における問題を解決するための思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。 ○一連の学習過程における位置づけを踏まえた思考力等を評価する。 ※指導事項イについて、その文末を分野の観点の趣旨及び学習過程における各項目の位置づけに基づき、「～について考えている」として作成。	○粘り強さ、自らの学習の調整に加え、これらの学びの経験とおして涵養された、技術を工夫し創造しようとする態度について評価する。 ○一連の学習過程で育成される資質・能力の関連に配慮し整理することが大切である。 ※指導事項ア、イに示された資質・能力を育成する学習活動を踏まえて、文末を「～しようとしている」として作成。

< 内容のまとめりごとの評価規準 >

(例) 内容：A材料と加工の技術 (2) 材料と加工の技術による問題の解決

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の課程や評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。

※技術分野は、学習指導要領の各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織して題材を構成し、分野目標の実現を目指します。

※各項目に配当する授業時数と履修学年については、生徒や学校、地域の実態等に応じて、各学校において定めます。

→ 実際に評価するためには、以下の①から④を検討します。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ①授業時数と履修学年を踏まえて、題材を検討 | ②題材の目標を設定 |
| ③題材の評価基準を設定 | ④題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討 |

< 知識・技能の評価規準の具体化、整理・統合 >

(例) 内容：A材料と加工の技術 (2) 材料と加工の技術による問題解決

内容のまとめりごとの評価規準 (例) を具体化した例	学習過程に応じて具体化、整理・統合した例
・適切な図法を用いて、製作に必要な図をかくことができる技能を身に付けている。 ・工具や機器を使用して、安全・適切に材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げや、検査等ができる技能を身に付けている。	・制作に必要な図や役割やかき方を知り、かき表すことができる。 ・安全・適切に材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。

無理なく適切な評価が行えるよう評価を行う場面(いつ、どの観点で評価するのか)を検討し、目標を達成した生徒の姿をより具体的なものとするために、評価方法についても検討します。



2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導展開例

(1) 題材名 エネルギー変換の技術によって、安心・安全な生活を実現しよう (第2学年)

(2) 題材の目標



エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせ、災害時に役立つ製品を開発する実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中からエネルギー変換の技術と安心・安全に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

(3) 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性及び、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。 ○安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時に想定される問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ○安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術の評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。

(4) 題材の指導計画 (全20時間)

時間	学習活動	○評価規準の例 ◇評価方法の例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><調べ学習の例> ・手回し式 LED 電灯の観察や分解等の活動を通じて、小型化や発電効率など目的や条件に応じて工夫されていることについて調べる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換についての科学的な原理・法則と、エネルギー変換の基礎的な技術の仕組みを説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇調べ学習レポート ◇ペーパーテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇調べ学習レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ◇振り返りカード
6	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にエネルギー変換の技術を用いて解決する問題を見付け課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><問題のテーマ例> ・非常時に役立つ製品を開発しよう。 <生徒の課題設定例> ・夜間停電したら室内の移動に困った。 ・就寝中に地震が起こると気付かない。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ○生活や社会の中からエネルギー変換の技術と安心・安全に関わる問題を見いだして、災害時に必要な課題を設定できる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇問題発見・課題設定シート 	

7 8	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題に基づき解決策を構想し、回路図や製作図として表す。 作業計画を立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作・実装に必要な図をかき表すことができる。 ◇回路図・製作図 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決策となる災害時に役立つ製品の構造や電気回路などを、使用場面などの条件を踏まえて構想し、使用部品を選択したり、設計したりすることができる。 ◇構想レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 <div data-bbox="1166 353 1433 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 振り返りカード、構想レポート、作業記録カード、完成レポート等と組み合わせて評価します。 </div> 
9			<ul style="list-style-type: none"> 設計に基づく合理的な解決作業を決定できる。 ◇作業計画表 ◇作業記録カード 	
10 11 12 13 14 15 16 17	<ul style="list-style-type: none"> 安全・適切に製作・実装を行い、製作品の動作を点検し、必要に応じて改善・修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・適切に製作・実装することができる。製作品の動作点検及び、調整等ができる。 ◇観察 ◇製作品 		<ul style="list-style-type: none"> 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
18	<ul style="list-style-type: none"> 完成した製作品について、発表し相互評価する。 		<ul style="list-style-type: none"> 完成した製作品が設定した課題を解決できるとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考慮することができる。 ◇完成レポート ◇ポートフォリオ 	<div data-bbox="1166 1256 1433 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 振り返りカード、設計レポート、作業記録カード、完成レポート等と組み合わせて評価します。 </div> 
19 20	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容を振り返る。 より安心・安全な社会を構築するエネルギー変換の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習と、エネルギー変換の技術が安心・安全な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ、エネルギー変換の技術の概念を説明できる。 ◇提言レポート 	<ul style="list-style-type: none"> より安心・安全な社会の構築を目指して、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や、改良の方向性について提言できる。 ◇提言レポート 	<ul style="list-style-type: none"> より安心・安全な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造している。 ◇提言レポート

観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場面を精選することが重要です。

評価方法には様々なものがあり、目標の実現状況の把握だけでなく、観点の特質や評価に要する時間等の条件を踏まえて適切な方法を選択する必要があります。



(5) 授業展開例<第6時>

○本時の目標

生活や社会の中からエネルギー変換の技術と安心・安全に関わる問題を見いだして、災害時に必要な課題を設定することができる。

学習活動	○主な発問 ・ 予想される生徒の反応	◇評価方法 ■留意点等
1 本時のねらいを知る。	<p>○これまでの学習を生かして、この懐中電灯をよりよく改良する方法を考えよう。</p> <p>・突然の停電や災害など、万が一のトラブルの場合を考えると、改良すべき点がみつきそう。</p>	<p>■身近な電化製品を提示することで、学習の見通しをもつ。</p>
<p>身近な生活の中から問題を見だし、非常時に役立つ製品を開発しよう。</p>		
<p>【10の視点】 ①魅力的な課題・教材の提示</p>	<p>身近な電化製品(懐中電灯)を実際に示すことで、学習への見通しをもたせます。</p>	
2 身近な生活や社会の中から問題を見だし、その解決方法を考える。	<p>○地震や台風などの災害時にどのような問題が起こるだろうか。</p> <p>・停電すると廊下が暗くて歩けない。</p> <p>・災害時に懐中電灯の電池が切れると使えなくなる。</p> <p>○災害時の問題をどのように解決したらよいか話し合おう。</p> <p>・停電したときに自動で点灯するライトがあるといい。</p> <p>・電池が切れても大丈夫なように、手回し発電機と蓄電池があるといい。</p>	<p>■エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて問題と解決方法を検討させるために、問題発見・課題設定シートを活用したり、話し合い活動を取り入れたりする。</p>
<p>【10の視点】 ④思考の整理</p>	<p>身近な生活や社会の問題やその解決方法について、多様な考えを参考にすることで、非常時に役立つ製品開発という本時のねらいに迫ります。</p>	
3 製作する課題を設定する。	<p>○問題を解決するためにどのような製品を開発すればよいか考えよう。</p> <p>・停電すると部屋や廊下が暗くて困るという問題を解決するために、停電時用の照明を開発する。</p> <p>・電源が確保できなくても使える手回し発電機のついた懐中電灯を開発する。</p>	<p>◇問題解決のために、使用場面と条件をもとに解決に必要な機能と性能を具体的に述べられているかを評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 (生徒の具体的な記述例)</p> <p>A：停電したことを感知して点灯し、廊下を歩くに困らないような明るさの照明</p> <p>B：停電したことを感知して自動で点灯する照明</p>
4 本時の振り返りをする。	<p>・万が一のトラブルの際を想定したことで、普段気付かなかった問題を見出すことができた。</p> <p>・材料と加工の技術の学習と同じように、試作をしながら友達と話し合っ、より使いやすい製品になるよう工夫していきたい。</p>	<p>【Cの生徒への手立て】 身近な問題や解決事例を具体的に示して、事例を通じてエネルギー変換の技術の見方・考え方に気付かせる。</p>

中学校 技術・家庭（家庭分野）

1 教育課程実施上のポイント

(1) 目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

○この目標は、家庭分野で育成を目指す資質・能力を(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に沿って示した。

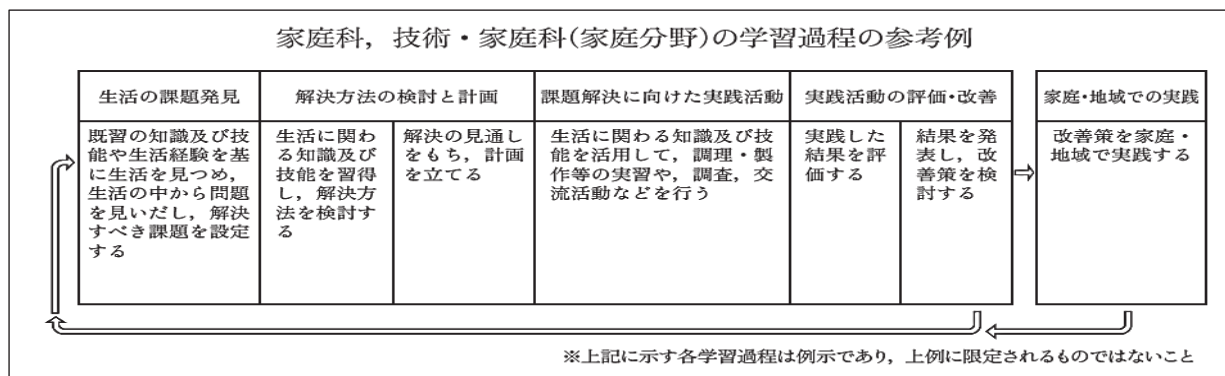
家庭科において育成を目指す資質・能力は、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための自立に必要なものであり、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れ、三つの柱を相互に関連させることが重要である。



技術・家庭科（家庭分野）において育成を目指す資質・能力の整理

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能 ・家庭の基本的な機能及び家族についての理解 ・幼児、高齢者についての理解と技能 ・生活の自立に必要な衣食住についての理解と技能 ・消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立についての基礎的な理解と技能	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力 ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、課題を設定する力 ・生活課題について他の生活事象と関連付け、これからの生活を展望して多角的に捉え、解決策を構想する力 ・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを根拠や理由を明確にして、論理的に表現する力 ・他者の意見を聞き、自分の意見との相違点や共通点を踏まえ、計画・実践等について評価・改善する力	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度 ・地域の人々と関わり、協働しようとする態度 ・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度 ・日本の生活文化を継承しようとする態度 ・将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとする態度

- 目標(2)に示されたような「家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する」という学習過程を通して、習得した「知識及び技能」を活用し、「思考力、判断力、表現力等」を育成することにより、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。



「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 家庭編」P.65 より

(2) 実施上のポイント

①改訂のポイント

○内容構成の改善

- 小・中・高等学校の各内容の系統性を明確にし、各内容の接続が見えるように、「生活の営みに係る見方・考え方」を踏まえて「A家族・家庭生活」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」の三つの内容に整理した。
- 三つの内容について、学習内容を空間軸の視点から主に家庭と地域、時間軸の視点からこれからの生活を展望した現在の生活として整理した。
- 資質・能力を育成する学習過程を踏まえ、各項目は原則として、指導事項ア（「知識及び技能」の習得）と指導事項イ（「思考力・判断力・表現力等」の育成）で構成した。

○A(1)については、小学校家庭科の学習を踏まえ、家族・家庭の機能を扱うとともに中学校における学習の見通しを立てさせるためのガイダンスとして、第1学年の最初に履修させる。

○「生活の課題と実践」の一層の充実として、A(4)、B(7)、C(3)として位置付け、3項目のうち1以上を選択し、他の内容と関連を図り、家庭や地域などで実践的な活動を行う。

○社会の変化に対応した各内容の見直し

「A家族・家庭生活」：少子高齢化の進展に対応し、幼児との触れ合い体験などを一層充実するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに関する内容を新設。

「B衣食住の生活」：食育を一層推進するために食事の役割、栄養と献立、調理で内容を構成。「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得していく。グローバル化に対応して、日本の生活文化を継承することの大切さに気付くように、和食、和服など、日本の伝統的な生活についても扱う。

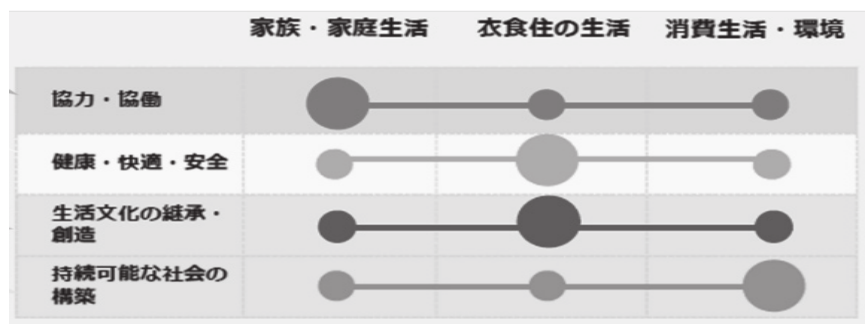
「C消費生活・環境」：持続可能な社会の構築に対応して、自立した消費者を育成するため、「計画的な金銭管理の必要性」、「消費者被害への対応」に関する内容を新設。消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容とする。

②主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業改善のポイント

主体的な学び	現在及び将来を見据えて、生活や社会の中から問題を見だし課題を設定し、見通しをもって解決に取り組むとともに、学習の過程を振り返って実践を評価・改善して、新たな課題に主体的に取り組む態度を育む学び。
対話的な学び	他者と対話したり協働したりする中で、自らの考えを明確にし、広げ深める学び。
深い学び	生徒が、生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、その解決に向けた解決策の検討、計画、実践、評価、改善といった一連の学習活動の中で、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせながら課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりして、資質・能力を獲得する学び。

③見方・考え方について

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。



※示された視点は全ての内容に共通する視点であり、相互に関わり合う。
 ※取り上げる内容や題材構成等により、どの視点を重視するのかを適切に定めることが大切。
 ※主として、捉える視点については、大きな丸で示している。

④移行措置について

○全部又は一部について新学習指導要領によることができる。

ただし、令和3年度の全面実施を見据え、令和元年度の第1学年の生徒に履修漏れが生じないように、令和元年度には3年間を見通した教育課程を編成しておく必要がある。

(3) 評価について

①評価の観点及びその趣旨

【技術・家庭】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【技術・家庭（家庭分野）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

学習指導要領に示された技術・家庭科及び家庭分野の目標を踏まえて、観点別学習状況の評価の対象とするものを整理し、「評価の観点及びその趣旨」が作成されています。



②評価規準の作成について

手順1 「内容のまとめり」を確認する

(例) B 衣食住の生活	(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴	(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
	(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事	(6) 住居の機能と安全な住まい方
	(3) 日常食の調理と地域の食文化	(7) 衣食住の生活についての課題と実践
	(4) 衣服の選択と手入れ	



「内容のまとめり」とは、各教科等において、学習指導要領に示す内容の項目等をそのまとめりごとに細分化したり整理したりしたものです。

手順2 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する

【例】「B衣食住の生活」(4)衣服の選択と手入れ

<内容のまとめり>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B(4)ア (ア)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ)衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。</p> <p>【観点のポイント】 ※指導事項アについて、その文末を「～を(について)理解している」「～を(について)理解しているととともに、適切にできる」として評価規準を作成する。 ※「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成する。</p>	<p>B(4)イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。</p> <p>【観点のポイント】 指導事項イについて、その文末を分野の評価の観点及びその趣旨に基づき、「～について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考えたことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成する。</p>	<p>※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、該当分野の目標(3)を参考にする。</p> <p>【観点のポイント】 ①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面)、②自らの学習の調整(その中で自らの学習を調整しようとする側面)に加え、③実践しようとする態度を含めることを基本とし、その文末を「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり(①)、振り返って改善したり(②)して、生活を工夫し、創出し、実践しようとしている(③)」として、評価規準を作成する。</p>

<内容のまとめりごとの評価規準(例)>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	<p>これからの生活を展望し、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>※必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。</p>

手順3 「『内容のまとめりごとの評価規準(例)』を具体化した例」を作成する

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。(洗濯・補修) 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、問題を見いだして課題を設定している。(洗濯・補修) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、(実践に向けた計画を)考え、工夫している。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に向けた二連の活動を振り返って改善しようとしている。 よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。

※「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」及び(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」、「B衣食住の生活」の(7)「衣食住の生活についての課題と実践」、「C消費生活・環境」の(3)「消費生活・環境についての課題と実践」は、指導事項アのみで構成されている。A(1)の評価の観点については、「知識・技能」、A(4)、B(7)、C(3)の評価の観点については、家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」であることに留意する。

2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導展開例

(1) 題材名 我が家の防災対策 (第3学年)

この題材は、「B衣食住の生活」の(6)「住居の機能と安全な住まい方」の学習を基礎とし、A(3)「家族・家庭や地域との関わり」との関連を図ったB(7)「衣食住の生活についての課題と実践」の住生活に関する題材です。



(2) 題材の目標

- ①自然災害に備えるための我が家の防災対策の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ②家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自然災害に備えるための我が家の防災対策について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとする。



Bの(7)「衣食住の生活についての課題と実践」における「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の評価について具体的に示しています。

(3) 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		○自然災害に備えるための我が家の防災対策の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自然災害に備えるための我が家の防災対策について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

(4) 題材の指導計画(全4時間)

小題材	時間	ねらい・学習活動	○評価規準 ◇評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然災害に備えた我が家の安全な住空間	1	<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策の中から問題を見いだして課題を設定することができる。</p> <p>・自然災害における我が家の問題点(危険個所)を見だし、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><課題設定の際の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家中 ・屋外の対策 ・避難経路の安全 ・避難所の備蓄品 など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><課題例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が家の防災対策(地震の避難経路)はどうしたらよいらう など </div>		<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策の中から問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>◇計画・実践レポート</p>	<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p> <p>◇行動観察</p>

我が家の防災対策プロジェクト(計画)	<p>2</p> <p>○「安全」「協力」などの視点から「我が家の防災対策プロジェクト」の計画を考え工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が「我が家の防災プロジェクト」の計画を立てる。 ・グループで発表し合い、自分の計画を改善する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><計画のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の中、外回り ・避難するとき ・家族の意見 など </div>		<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇計画・実践レポート ◇行動観察 ◇相互評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>計画・実践レポートの記述内容や行動観察から評価します。</p> <p>※「十分満足できる」状況の例</p> <p>課題解決に向け、今まで学んだことを踏まえて実践計画を考え、他の生徒のアドバイスを参考に、計画の改善点のポイントを具体的に記述していること。</p> </div>	<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ポートフォリオ ◇行動観察 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポートフォリオの記述内容や行動観察から評価します。</p> <p>※「十分満足できる」状況の例</p> <p>自己評価をし、他の生徒のアドバイスを参考にすることでなく、自ら行動し具体的な解決方法を考え、計画に生かそうとしていること。</p> </div>
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

家庭・地域での実践



我が家の防災対策プロジェクト(評価・改善)	<p>3・4 (本時)</p> <p>○「我が家の防災対策プロジェクト」の実践についてまとめたり、筋道を立てて説明したり、発表したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践したことを計画・実践レポートにまとめる。 ・グループごとに実践発表会を行い、互いにアドバイスし合う。 <p>○「我が家の防災対策プロジェクト」について、実践した結果を評価・改善するとともに、新たな課題を見付け、次の実践に取り組もうとすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒からの意見を踏まえ、実践を評価し、改善する。 ・よりよい生活にするために、自然災害に備えるための我が家の防災対策についての新たな課題を見付け、次の実践に向けて考えたことをまとめる。 		<p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを筋道を立てて説明したり、発表したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇計画・実践レポート ◇行動観察 ◇相互評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>計画・実践レポートの記述の状況、実践発表会の発表の様子などから評価します。</p> </div> <p>○自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する課題の解決に向けて、家族や地域などで実践した結果を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇計画・実践レポート ◇行動観察 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>計画・実践レポートの「今後の改善策」の記述の内容から評価します。</p> </div>	<p>○更によりよい生活にするために、自然災害に備えるための我が家の防災対策に関する新たな課題を見付け、家庭や地域での次の実践に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ポートフォリオ ◇行動観察 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポートフォリオの記述内容や行動観察から評価します。</p> <p>※「十分満足できる」状況の例</p> <p>家庭や地域での実践について、新たな課題を見付けるとともに、改善に向けた意欲だけでなく、これからの活動についても具体的に記述していること。</p> </div>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場面を精選することが重要です。

評価方法には様々なものがあり、目標の実現状況の把握だけでなく、観点の特質や評価に要する時間等の条件を踏まえて適切な方法を選択する必要があります。



(5) 授業展開例<第3・4時>

○小題材名 我が家の防災対策プロジェクト（評価・改善）

○本時のねらい

自然災害に備えるための「我が家の防災対策プロジェクト」について、家庭や地域で実践した結果や実践を評価・改善するとともに、新たな課題を見付け、次の実践に取り組もうとする。

学習活動	指導上の留意点	◇評価場面・評価方法
1 本時の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。	○本時の学習課題と学習の進め方を確認する。	
<p>自然災害に備えるための「我が家の防災対策の実践プロジェクト」の実践を交流し、これからの生活に生かそう</p>		
2 「我が家の防災対策プロジェクト」の実践の成果と課題についてまとめる。	○発表に向けて、実践前の状況と、具体的な実践内容について振り返るようにする。	
<p>【10の視点】 ⑤説明・発表の場の機会の充実 ⑥学び合う活動の充実</p>	<p>家庭や地域での実践の様子をまとめ、他の生徒に、考察したことを筋道を立てて説明したり、発表したりできる機会を持ちましょう。また、他の生徒の実践を聞いたり、アドバイスしたりすることで、より思考が深まりま</p>	
<p>3 「我が家の防災対策プロジェクト」の実践をグループごとに発表し、交流する。 ・発表内容について、よいところ、アドバイスを付箋に記入し、意見交流をする。</p>	○自分と他の生徒の実践を比較し、互いの実践のよいところやアドバイスを考えられるよう助言する。	<p>実践について、発表する場面</p> <p>◇思考・判断・表現 【計画・実践レポート】 【行動観察】 【相互評価】</p>
<p>4 ゲストティーチャー（防災担当者・自治会長さん）の感想や話を聞く。</p>	<p>○ゲストティーチャーの感想や話を踏まえて、各自の実践を振り返るよう助言する。 ○地域との関わりについての自分の考えを深めることができるようにする。</p>	<p>実践した結果を評価し、改善する場面</p> <p>◇思考・判断・表現 【計画・実践レポート】 【行動観察】</p>
<p>5 「我が家の防災対策プロジェクト」の実践を振り返り、実践した結果を評価したり、改善したりする。 ・他の生徒からの意見やゲストティーチャーの話をもとに改善点をまとめる。 ・改善したことを交流し、今後の生活に生かしたいことについて話し合う。</p>	<p>○我が家の防災対策を更によりよくするための課題を明確にするよう助言する。 ○実践の交流により、様々な災害対策についても考えられるよう助言する。</p>	
	<p>【10の視点】 ⑧学習を振り返る活動の設定</p> <p>学習した内容を生かし、よりよい生活にするために、新たな課題を見つけ、家庭や地域での次の実践に結び付けていくことが重要です。</p>	<p>これからの生活を展望する場面</p>
6 我が家の防災対策に関する新たな課題を見付け、次の実践に向けて考えたことをまとめる。	○日常的に自然災害に備え、主体的に取り組もうとする意欲を高める。	◇主体的に学習に取り組む態度 【ポートフォリオ】 【行動観察】